

2009年

1
月号

組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長代行〉

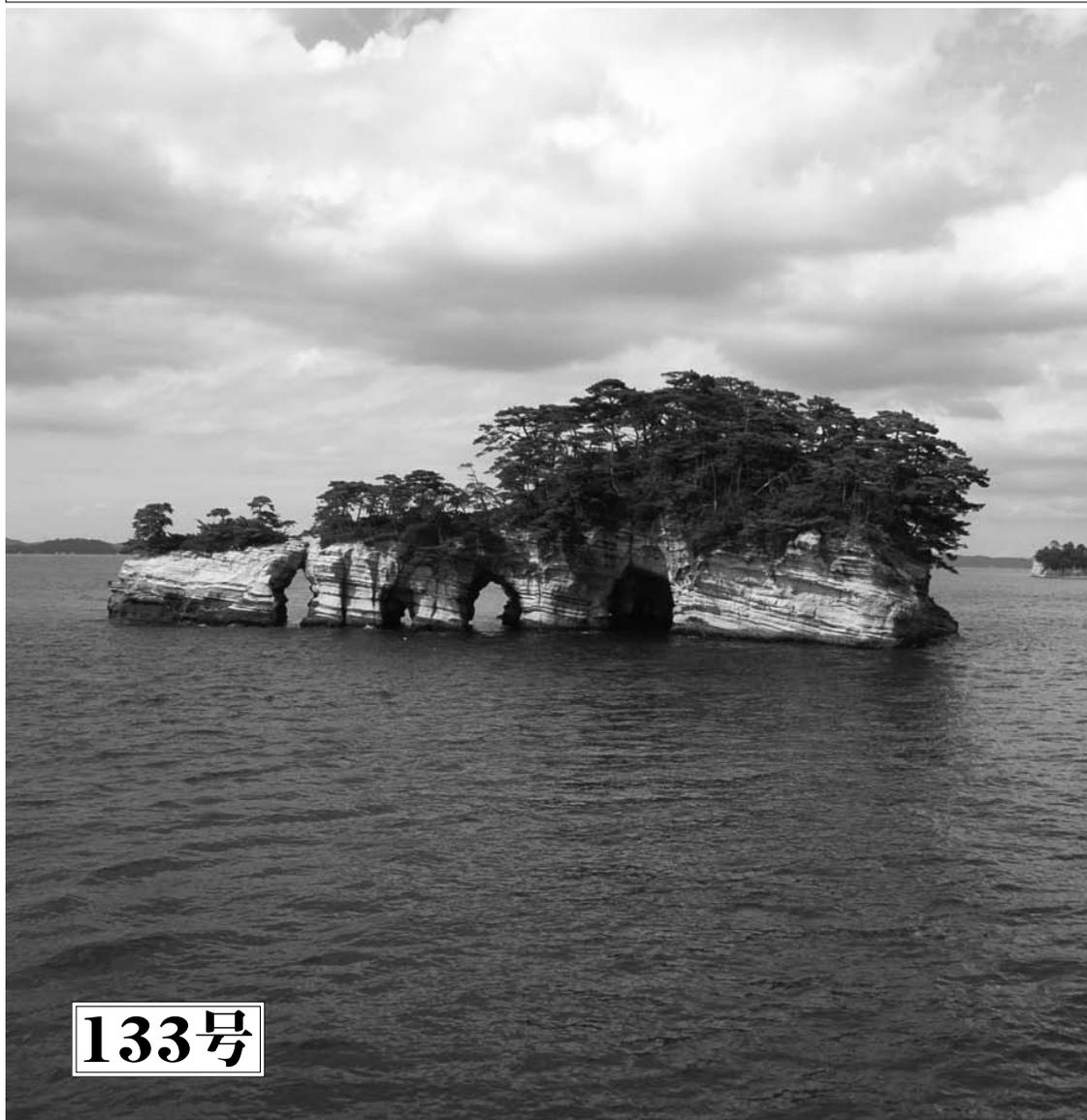
野口 武

〈編集人・総務委員長〉

島田 幸昌

—今月号の主な内容—

全鍍連関東甲信越静ブロック会議 …………… 2	排水分析に関してのお願い …………… 6
公害防止管理者 研修会を開催 …………… 2	たんぼぼ計画参加希望企業募集 …………… 6
第46回全国大会開催される …………… 4	故 吉田勇理事長を偲んで …………… 8
視察研修旅行 …………… 4	支部だより(第5支部) …………… 10



133号

全鍍連関東申信越静

ブロック会議開催される

平成20年10月16日、新潟県弥彦温泉「四季の宿みのや」において、平成20年度全鍍連関東申信越静ブロック会議に野口理事長代行・小林専務理事・今井技術委員長・島田総務委員長の4名で参加しました。



会議は、幹事県の新潟県鍍金工業組合・井筒理事長の御挨拶で始まり、来賓を代表して全国鍍金工業組合会長 鈴木様の御挨拶をいただき、続いて議長に、新潟組合の井筒理事長と長野組合の下島理事長を選出して議案審議入り、まず全鍍連の近藤専務理事が全鍍連報

告そして鈴木会長から国際委員会

で訪問した海外の工場の報告をしていただき、我が埼玉の組合員であり、当日も参加していただいた、今井技術委員長の中国工場を視察したことにもふれ、素晴らしい工場と絶賛されていました。

同じ組合員として、非常に誇りでした。

引き続き各県(1都10県)の紹介・報告をしました。

埼玉からは、アウトサイダー加入促進・組合での自主分析などを報告し、土壌汚染関連を全鍍連より対処方法の確立などをお願いしました。



公害防止管理者

再教育研修会を開催

平成20年10月7日(火)午後1時30分より、大宮駅近くの大宮サンパレスにて、事業所責任者及び、公害防止管理者を対象とした研修会を開催しました。

はじめに、石下一明環境保全対策委員長の司会で行われ、仁科俊夫副理事長の開会の辞に続き主催者を代表して野口副理事長が次のように挨拶した。

「現在の経済は、アメリカのサブプライムローン問題を発端とした世界同時株安・不況の煽りを受けている国々が多い中、日本は深入りせず大きな影響が無かったのが幸いであったが、中国・インドなどの急激な高度成長の中、自動車業界では大変な時期を迎えるのではないかと懸念している。

我々めつき業は水・空気に関わる環境と切っても切れない関係で、不況だからといっておろそかにする事は絶対にあってはいけない、各事業所が率先して環境保全に取り組んでもらいたい。結局、長い目で見れば必ず自分の事業所

にプラスとなって帰って来る事と思っている。」と挨拶した。

その後、9月4日に他界された、故吉田 勇理事長に9月4日付けで、叙位叙勲「正六位 旭日双光章」に選ばれたことを報告しました。

第一講演

「土壌汚染対策について」

講師 埼玉県環境部水環境課 講師 埼玉・地下水地盤環境担当

技師 安村 雄一郎氏

講演内容

- ①土壌汚染とは
- ②土壌汚染の仕組み
- ③土壌汚染による影響
- ④関連法令
- 1、土壌汚染対策
- 2、生活環境保全条例
- 未然防止
- 1、水質汚濁防止法……
- 2、廃棄物処理法……
- 3、地下浸透の禁止
- 4、廃棄物の適正保管及び処理など
- 5、法令3条・4条による調査
- 6、埼玉県生活環境保全条例
- 7、条例79条による調査
- 8、対策の種類及び除去
- 9、有害物質の受入・保管・使用場所
- 10、汚水処理施設・配水管

- ① 事故等を発見できる構造
- ② リスクコミュニケーションケースション
- ③ 届出・相談窓口



第二講義

「環境にやさしい三価クロムめっきとその耐融雪塩性について」

講師 カニングジャパン株式会社 東京営業所
営業主任 竹下竜一氏

講演内容

- ① 3価クロムめっきの現状
 - ② 3価めっき浴の特性
 - ③ 3価クロムと6価クロム浴の作業条件及び諸特性の比較
 - ④ 3価クロムと6価クロム浴の電流密度に対するめっき厚分布
- 自社製品の説明

第三講義

「3価クロムめっき装飾用と硬質代替への課題」

講師 奥野製薬工業株式会社 総合技術研究所
表面技術研究部 基礎研究室

室長 片岡順一氏

講演内容

- ① 環境対応型3価クロムめっき
 - ② 3価クロムめっきの問題点
 - ③ 3価クロムめっき浴の管理について
- 自社製品の説明



**公害防止管理者二次
再教育研修会を開催**

環境保全対策委員長 石下一明

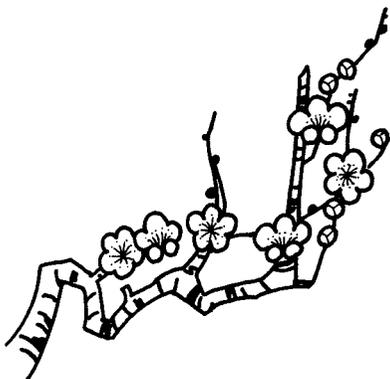
平成20年12月11日(木)に埼玉県鍍金工業組合事務所内の会議室において、10月に開催された公害防止管理者再教育研修に都合で参加する事の出来なかつた事業所を対象に、再教育研修会を開催しました。

当日は「土壌汚染対策について」埼玉県環境部 水環境課の協力を頂き再公演を行って頂いた。当鍍金組合の公害防止管理者の環境・公害等への関心の高さと前向きな姿勢は今後も継続して頂きたいと思っております。来期以降も各事業所並びに関係各位のご協力のもと100%の出席を目指して、年1度の再教育研修で済みます様、ご協力の程宜しくお願い致します。

理事長代行選任される

平成20年10月7日(火) 大宮サンプラスに於いて臨時理事会を開催しました。

吉田 勇理事長が逝去(平成20年9月4日没)に伴い、理事長選考について審議した結果、第43期(平成19年~20年)途中での任期選考となるので定款33条3項にもとづき、野口 武氏を理事長代行として選任し、平成21年第44期通常総会まで執行することとなり、内外に役員変更の通知を行いました。



全国鍍金工業組合連合会
創立60周年記念式典
第46回全国大会

第46回全国大会宣言(スローガン)

「ものづくりはひとつづくり」
技術革新とのコラボレーションで活路を切り開こう



平成20年11月21日 虎ノ門パストラルにおいて全国鍍金工業組合連合会 創立60周年記念式典、第46回全国大会が各都道府県鍍金工

業組合関係者、所管官庁及び學術団体より多数参加を得て盛大に開催されました。埼玉県からは、8名が参加し、今回の全国大会で賞を受賞された埼玉県の方々は次のとおりとなった。

創立60周年記念式典

全国中小企業団体中央会会長表彰
野口武 理事長代行

第46回全国大会

組合功労役員表彰
石下 一明 有限会社 明光社
(環境保全対策委員長)

高林 桂司 三善工業 株式会社
(技術教育委員会理事)

島田 幸昌 有限会社 島田工業所
(総務委員長)

全国めっき技術コンクール表彰

全国鍍金工業組合連合会会長賞

銅賞
装飾クロムめっき部門

有限会社 今井メッキ工業所
今井昭雄 (技術教育委員長)

次に第46回全国大会決議事項の経過報告、大会宣言のスローガンを提出・採択を行った結果、主に今後1年間の業界運営の基本方針ともいべき上記の大会スローガンを決定しました。その後、豪華な懇親会パーティーを盛大に開催し、閉宴となりました。



『視察研修旅行』
スズキハイテック株式会社
(山形県山形市)

埼玉県鍍金工業組合は、平成20年10月19日(日)～20日(月)の2日間、視察研修旅行を開催した。初日は松島の観光を予定、早朝6時45分大宮ソニックシティ周辺のバス乗り場へ集合、午前7時参加者31名を乗せた観光バスは一路、松島へ出発。

東北道を下り約4時間、長時間の車中ではありましたが皆さん疲れもなく、1日目の昼食場所、仙台市内でも美味しいと評判の『伊達の牛タン本舗』へ到着、皆さん美味しい牛タンに舌鼓。

昼食を頂いた後、塩釜港へ出発、塩釜港より観光船に乗り換え島巡りに出発、船窓から見える景色は大小様々な島が織成す絶景を眺め、デッキではカモメと戯れながら短い時間でしたが、楽しいひと時を船上で過ごしながら、次の目的地、松島港へ到着。

船を下りた一行は国宝の瑞巖寺本殿を見学、その後JR東日本のCMで有名な五大堂を散策、その



後、宿泊先へバスで移動、午後4時30分「宮城県松島 ホテル壮観」に到着。

宿泊室内から夕日に染まった島々がとても綺麗に見る部屋へ通されると、早速、疲れた体を一風呂浴びて今日一日の疲れを癒した。

その後、午後6時より「奥松島の間」にて懇親会を開催、野口理事長代行の挨拶の後、小林専務理事の乾杯、懇親会を和やかに懇談した。

翌日、20日(月)午前8時30分に宿泊先を出発、三陸自動車道を通り一路、視察先の「スズキハイテック株式会社」に午前10時到着、全国鍍金工業組合連合会会長である、鈴木 喜代壽代表取締役社長

に出迎えられた。
早速、社内会議室に通され鈴木一徳 専務取締役により会社紹介をして頂いた。

創業は大正3年、鈴木メッキ工場としてスタート、長年に渡りミシン部品・スピーカー・通信部品・半導体部品・プリント基板と徐々にめつき品目に対応して行き、平成2年スズキハイテック株式会社へと社名を変更し、現在に至っている。従業員は総勢二百名となる大企業で、基本方針は、『めつき業界の日本でのスタンダードになる』を目標に掲げている。

今回視察させて頂きました本社工場は長い歴史とともに工場を増改築してきた事での工場レイアウトに苦労された事、本社工場では処理用水源を地下水で賄い、処理後の水は適正値まで処理された排水を工場近くの馬見ヶ先川へ、1時間に50tを放流していて、上下水道費が殆ど掛からない事などを説明され、参加者からも羨ましいとの声が上がっていた。

一通り説明が終わった後、社内を見学、先ほどの説明でも言われていたように工場内は迷路のように階段の途中に扉を増設した跡や、壁で塞いだ後など大変苦労さ

れている事が見学をしていても分かり、又、めつき品目も15品目以上を処理している為、各部屋への移動は注意してないと置いていかれてしまい、どちらへ行つたのか分からなくなってしまうそうであった。

各めつき処理施設内に入ると若い社員の方が多くみなさん元気な声で挨拶をして頂き、とても活気に満ちていました。

又、社内には本格的な分析計量室があり計量証明事業所として登録されているそうで、社内のみならず他からの計量測定も実施しているとの事でした。

社内を見学後、小林専務理事よりお礼の言葉と記念品を手渡し、工場前にて全員で記念写真を撮り、従業員の皆様を送られつつスズキハイテック工場を後にした。

工場を出発してからすぐ、芋煮会で有名な川原と大なべを横目にし、途中昼食をとった後、次の目的地「蔵王のお釜と五色沼」へ向かった。

蔵王のお釜までは、山道を登って行き、標高が高くなるにつれて広葉樹の葉の色が赤や黄色、橙色へと変化して行く紅葉を眺めながら午後1時50分ごろ到着した。

お釜は蔵王のシンボルとして、熊野岳・刈田岳・五色岳に囲まれた火口湖でエメラルドグリーン湖水が刻々と変化する神秘的な湖で、参加者も自然が作り出した絶景にしばし見とれていました。

その後、お釜を後にし、途中ピッコ大会を開催し楽しい時間を過ごしながら、午後8時ごろ、大宮ソニックシティに到着、無事に今回の視察研修旅行を終了した。

今回、ご参加頂きました皆様、又、お忙しい中、快く視察させて頂きましたスズキハイテック株式会社の皆様、本当にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。



『排水分析に關してのお願い』 (分析担当 篠永)

いつもお世話になっております。昨年12月より分析を担当させて頂いて気がついた点をまとめさせて頂きます。

正確な分析を行うために是非とも守って頂きたい事項です。何卒ご協力の程宜しくお願いいたします。

①採水での注意点

容器を洗浄されずに採水される容器を洗浄せずに採水されると、緑藻が生えるなど分析結果に影響を及ぼす恐れがあります。また、破損した容器を見かける事がありますが、これも破損箇所からの漏れ、外部からの混入などの影響が懸念されます。

②専用容器以外での採水

数件ですが、専用容器以外での採水の持込がありました。専用容器外(ペットボトル・試薬ビン等)での採水は以前入っていた内容物の影響が残っている可能性があります。しっかりと洗浄したつもりでも分析項目に

よつては影響を及ぼす可能性があります。ありますので、専用容器をご使用下さい。

VOC関係(トリクロロエチレンなど)は処理をした専用のガラスビンでの採水が望ましいので、他のビンでの採水はしないで下さい。

対策として、三菱マテリアルさんから専用処理をしたビンをお借りして各分析対象事業所へお渡しいたします。

③採水後の保管方法

採水後、収集・組合まで持ち込まれる間、室温での保管が多く見受けられます。項目によっては正確な分析が行えなくなる場合がございます。

夏場は特に影響されやすいため、出来る限り0度〜10度以内での保管をお願いいたします。また、組合までの移動時もクーラーBOXなどに入れて温度変化の少ない状態でお持ち込み頂けると幸いです。

④分析依頼の分散

採水された検体を私一人で分析

するには一日にできる許容範囲が決まってしまう。月平均で90件以上を分析しているため、一度に集中してしまうと保管する場所が不足してしまうこと、早急な処理が不可なことにより正確なデータではなくなってしまふ可能性がります。各支部のご協力のもと出来る限り採水の持ち込みを分散して頂けると幸いです。

⑤採水方法

採水場所は必ず採水地点の代表水質になるように採水場所を決めて下さい。

採水は検水で2〜3回ゆすいだ後、内ぶたの中に空気が残らないように満タンに採水して、キャップをしつかり閉めて下さい。

*後日組合ホームページに分析項目・検体量などをアップ致します。

*今後ともがんばって参りますので皆様のご協力宜しく御願いたします。

たんぼ計画参加希望企業募集

◎計画の内容

- ① 小規模事業場の労働災害防止・安全衛生水準の向上を計る事業支援。
- ② 支援期間2年間十アタワーフォロー期間1年
- ③ 申請により参加各社に各種補助金があります。
- ④ 組合にこの事業推進の為の事務経費が補助されます。

◎参加要件

- ① 埼玉県鍍金工業組合の構成事業所であること。
- ② 50人以下の事業所であること(各工場毎で50人以下)。
- ③ 参加申し込みをした企業。

参加企業は安全診断・衛生診断を受けることとなります。

(情報は他に漏れることはありません) 運営委員会(年4回) 全体会議(年1回)

◎募集企業数

20社程度
ぜひ、ご参加下さい!!

中小企業（小規模事業場）を応援します！

たんぽぽ^{プラン}計画

安全衛生の花を咲かせよう！

「たんぽぽ^{プラン}計画」（団体安全衛生活動援助事業）は、小規模事業場の労働災害防止・安全衛生水準の向上を支援する制度で、厚生労働省の委託を受けて中央労働災害防止協会（中災防）が実施するものです。「たんぽぽ^{プラン}計画」の対象となるのは、中災防に登録された製造業を主たる構成員とする団体で、安全衛生活動を資金面及び技術面から総合的に3年間サポートします。

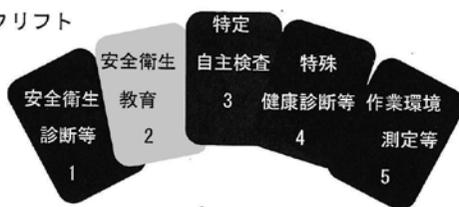
※団体は、安全衛生活動の推進を目的としたもので、主として製造業の中小企業者（資本金1億円以下または労働者数300人以下の事業主）であり、かつ50人未満の小規模事業場を構成員とし、地域的にまとまりのあるもの等、一定の要件を満たすものです。

個々の小規模事業場を支援します！（初年度、2年目）

小規模事業場は、安全衛生水準向上のため次の安全衛生サービスを利用できます。利用料金の一部が、国から援助されます。

フォークリフト運転等の資格取得への一部助成もあります！

- (1) 安全衛生診断等 安全衛生診断、機械設備の点検基準・作業標準の作成と指導
- (2) 安全衛生教育 安全衛生推進者の能力向上教育、職長教育、フォークリフト運転等の特別教育(22種類)・技能講習(24種類)、その他労働災害防止に資する教育
- (3) 特定自主検査 動カプレス機械、フォークリフト
- (4) 特殊健康診断等
- (5) 作業環境測定等



団体の安全衛生活動をバックアップします！（初年度、2年目）

団体を構成する事業場の業種や実情に合わせて、労働災害防止、安全衛生水準向上のための活動を企画・運営するための活動資金や技術面での助言等も行います。

- (1) 団体ごとに安全衛生の専門家等からなる「アドバイザーチーム」を編成し、団体で行う安全衛生活動やたんぽぽ^{プラン}計画の運営について、きめ細かい指導、助言、相談を実施します。
- (2) 団体で行う安全衛生活動を資金面で支援します。
 - *たんぽぽ^{プラン}計画の運営のための経費の交付（団体事務局の活動経費、所定の運営会議のための費用）
 - *団体が企画・実施する安全衛生活動の経費の交付（相互安全衛生パトロール、災害事例検討会、職長教育等の費用）
- (3) 団体の安全衛生活動を進めるリーダーの養成を支援します。
 - *安全衛生管理講座・RST講座等の受講、全国・都道府県安全衛生大会への参加にかかる費用



昭和42年より埼玉県鍍金工業組合の理事、平成元年に副理事長として平成5年から理事長に就任して以来、長年にわたり組合にご尽力を賜りました。その間全鍍連においても昭和54年に常任理事、平成15年から副会長に就任するなど、埼玉にとどまらず全国の鍍金工業会に大変に寄与していただきました。

他の団体においても、埼玉県金属加工健康保険組合理事長、熊谷中全会副会長、吹上町行政改革懇話会委員、労働省派遣事業適性運営協力員、埼玉県・中国山西省経済協力推進委員、上尾法人会、埼

玉県化学物質円卓会議委員など多くの団体の中心的役を担ってこられました。

そして数多くの表彰を受賞しました。

平成元年3月30日「通商産業省基礎産業局長表彰」・平成5年11月14日「埼玉県知事表彰」

平成5年11月26日「中小企業庁長官表彰」・平成10年5月25日「通商産業大臣表彰」

平成12年11月3日に「藍綬褒章」を受章されました。

そしてさらに名譽であります叙位叙勲、「正六位旭日双光章」を平成20年9月4日付けで受けられました。

昭和14年2月20日に生を受けてから、69年間、大変多くの方々に愛されて、大変多くの方々に信頼され、大変多くの方々に頼られて、大変多くの方々に惜しまれながら、大変多くの方々の心の中に吉田 勇という名を刻みながら、平成20年9月8日に県央みずほ斎



場から旅立たれました。故人を偲び、心よりご冥福をお祈りします。



最後に、御子息であります、吉田幸司様にコメントをいただきましたので故吉田 勇様の人となりを御紹介をいたします。

故吉田 勇理事長を偲んで

吉田幸司 父への思い

物心ついた頃から父は不在な時が多く、たまに家にいるときはテレビのジャイアンツ戦を見ながら終始無言で晩酌を：そしてジャイアンツが負けそうになると、テレビを消して寝室で本を読んでいた。

食卓では、母と私と弟の話し声、そしてヒットが出たときの父の『よしっ！』という声と大音量のテレビの音。これが我が家の日常でした。

驥、とくに約束ごとには非常に厳しく、(1〜2度ぶん殴られた記憶がありますが…)普段はあまり口を利かず、『おっかない親父』といったイメージの父でした。

ちょうど下の弟が生まれた頃、父は吉田商店の代表取締役就任したようで、更に家にいる日が少なくなり、またお客(仕事関係や友人)が来る事が増えてきました。

客と語らっている父はとても朗らかで、(お酒のせいもありますが…)またお客と一緒に遊んで幼い私にちよっかいを出してきました。普通お酒の入った大人に構われる子供の心理としては非常に迷惑な事だと思いますが、私にとつては朗らかな父とその友人達と過ごす時間が楽しく思えてよくその席に同席し、最後には『子供の時間はもう終わり、早く寝なさい。』とよく言われたのを覚えております。

ちょうど、イデア工業が軌道にのつた頃、よく仕事の話をしてくれた事も覚えております。

貴金属の話・セラミックの話・懇話会で有名人に会った話・地方で食べたおいしいもの話等、酒の入っていない父とよく話すようになったのはこの頃からだと思います。

相変わらず家にいる事は少なかったのですが、年に一度の家族旅行・正月の風揚げ・ときたま行く外食、その中でいろんな雑学的な話を自慢げに話し、『おまえもたくさん本を読め』と言われました。

進路の話や就職の相談など節目には必ず父に相談を持ちかけましたが、『おまえの人生なんだから、自分で考える。』といつも答えは同じ、但し翌日に必ず父からのメモがあり、古いことわざや、思想的なことが書いてあったのを覚えております。ちなみに最後にもらったメモは、それらがいろいろ書いてある手帳でした。

今となってみれば、忙しいなか駆けずりまわって家に帰り、疲れて口も利きたくなかったのだろう事は解りますし、なかなか家に帰ってこれなかった理由もわかります。

しかし愚痴一つこぼさず、仕事と各団体の役職をこなし、そして休む間も惜しんで、趣味のゴルフや旅行・仲間との付き合いを過ごし、話す時間は少ないですが必ず家には帰ってきて家族の顔を見て『今日は何かあったか?』と母に尋ねる。そんな生活を何十年も過ごしてきた父ですから、療養中の病院生活も、良い休暇になったのでは：：と思います。

69年と少々短い人生ではありましたが、みんなに慕われ、尊敬さ

れ、また好きな事もたくさんあって、悔いの無い人生だったので？と家族一同思っております。

手術前の父の日記はこう記してありました。

『この年で大病を患うと我が人生の悔悟といったようなことにおちいるが、人並み以上の良き人生を送ったと思っている。：：：』

生前お世話になった全ての皆様に家族一同感謝申し上げます。



第5支部だより

第5支部は、草加市、八潮市、三郷市、吉川市、越谷市、春日部市、松伏町の地域から構成されています。

旧5支部の草加市、八潮市、三郷市、吉川市で16社と旧11支部の越谷市、春日部市、松伏町で5社の支部合併により第5支部21社で構成しており、ブロック(旧支部)どうしで会議を開き、経済情勢等々を話し合いながら楽しく行っています。

埼玉県を代表するような、さい



たま市・川口市・川越市・所沢市・熊谷市など大きい街はありませんが、「草加せんべい」とか三郷の「なます」などは有名です。今回は、越谷の歴史にふれる機会があり楽しかったので、越谷の歴史をご紹介しますと思います。

越谷は東武伊勢崎線(地下鉄日比谷線乗入れ)が南北に、JR武蔵野線が東西に走り、埼玉県南東部に位置し、中川、古利根川、綾瀬川や元荒川が縦横に流れ、古くより「水郷こしがや」と呼ばれてきました。歴史をひも解くと江戸初期には徳川家康が民情視察を目的としてタカ狩りをし、現在の地名、御殿町に「越ヶ谷御殿」を建て宿泊していたと聞く。

家康没後遺骸は久能山に葬られたが、その後日光に移され家康霊廟参拝が江戸幕府によって制度化されて、日光参りが始まり街道整備が進み、奥州街道(日光街道)の宿場町越ヶ谷宿として発展し、

本陣、脇本陣合わせ五十数軒があったとのことである。今度、越谷のほうにお越しの際は、写真のところに散歩してみてください。楽しいものですよ。

訃報

吉田 勇さん

(有)吉田商店

取締役会長

埼玉県鍍金工業組合理事長

全鍍連副会長

平成20年9月4日 逝去

享年69歳

葬儀委員長

埼玉県鍍金工業組合顧問

全鍍連名誉顧問 島村 周

伊藤 政子さん

(有)二幸鍍金工業所

代表取締役社長 ご母堂

元理事

平成20年11月9日 逝去

享年101歳

渡辺 實さん

(有)渡辺鍍金工業所

取締役会長 ご尊父

元理事 支部長

平成20年12月6日

享年97歳

編集後記

表紙の写真は松島(宮城県松島町)です。日本三景の一つとされる景勝地です。

平成二十年十二月の政府日銀短観は大企業、製造業の業況判断指数(D1)が、第一次石油危機直後の一九七五年以来の落ち込み幅となり、金融危機の深刻化で景気が坂道を転げ落ちるようになり悪化している実態が浮き彫りになった。景況感の急速な冷え込みを受け、日本を代表する企業でも相次いで減産や雇用カットに着手している。日銀短観の大幅悪化は、金融危機のショックがけた外れだったことを物語る。

印刷

保証企画工芸株式会社

〒110-0012

東京都台東区竜泉1-4-3

TEL 03(3875)1641